

川柳で

古墳王国

伝えたい



太田市立旭小学校5年

和田 明子

1. 石研究のきっかけ

2018年「はにわ石研究」をしました。

群馬のはにわは、4世紀後半から6世紀系冬わりまで作られ、古墳にかざられていたことが分かりました。

はにわには、死んだ人への思いが込められていると知りました。

2019年「古墳ぐん馬ソングを作ろう!!」では、古墳時代に、私が住んでいる群馬に力を持ったえらい人が住んでいて、栄えた様子を歌にしました。

2020年「古墳かるた～8つのキーワードからかるた作り～」では、古墳時代の様子を分かりやすくかるたにしました。



歌やかるたなど、分かりやすい短い言葉で人に伝えることで、多くの人に知ってもらえると考えています。

群馬の古墳のすばらしさをもっと身近に感じてもらえる方法はあるのだろうか？私は考えました。

「お～いお茶」には、俳句がついている…

身の回りの中に古墳時代の写真とそれを分かりやすく説明した俳句はどうだろう…と思いました。古墳時代に興味がある人もない人も、自然と手にとり楽しめるのではないだろうか。でも、俳句には、季節を表す言葉を入れる必要がある。それなら川柳卵にしよう！

私は写真と川柳を組み合わせて、ペットボトルラベルを作ることにしました。

2. 研究の方法

- ① 新しい東国文化副読本からキーワードを見つける
- ② 川柳と俳句のちがいを知る
- ③ 調べた内容を使ってペットボトルラベルを作る

3. 研究の内容

私は、東国文化副読本の「はじめに」を参考にして、キーワードを見つけることにしました。2021年4月に新しい東国文化副読本が発行されました。4年前の2017年4月に発行したものとその内容を比べてみました。

大きく4つのまとまりに分かれている「はじめに」では、最初と最後のたん落はほぼ同じ内容が書かれています。

「**群馬の地域の重要性**」は「**地理的な優位性**」**群馬は日本列島の西と東をつなぐ交通の要**と表現されていました。

「**堂々とした姿を誇る巨大古墳**」は「**かつて13,000基を超える古墳が存在した**」**東日本最大の古墳**」に表現が変わっていました。

「**ヨロイを着けた武人や祭祀を行う巫女の埴輪**」は「**埴輪として日本初の国宝となった武人埴輪をはじめ、質・量ともに日本一の埴輪王国**」と書かれていました。

「**鏡や冠などの豪華な出土品**」は、「**新たに国宝となった綿貫**」

2017年4月発行

はじめに

群馬は、東国文化のふるさとといわれています。古墳時代を中心に、現在の関東地方で栄えた文化を「東国文化」といいます。当時の日本は近畿地方が政治・経済・文化の中心地でしたが、群馬の地域は、ヤマト王権と連携した大きな勢力が形づくられ、仏教や文字文化が早くから発達し、経済的にも文化的にも当時の東日本をリードする先進的な地域でした。

その背景には、今と同様、交通の要である群馬の地域の重要性と中国大陸や朝鮮半島の文化や技術の伝来が、大きな役割を果たしています。

堂々とした姿を誇る巨大古墳、ヨロイを着けた武人や祭祀を行う巫女の埴輪、鏡や冠などの豪華な出土品、住居跡や水田跡など、多くの歴史文化遺産が残されており、群馬で生きた人々の暮らしの一端を見せながら、私たちに群馬の昔を語りかけてくれています。

なぜ東日本最大の古墳大国になったのか、古墳を造った豪族や当時の人々はどんな暮らしをしていたのか、出土品から見えてくる大陸やヤマト王権との関係はどのようなものか。

この本を読んで、皆さんが古代に群馬が果たした大きな役割を知り、郷土の歴史や文化に興味を持っていただきたいと思います。

観音山古墳のきらびやかな副葬品の数々となっていました。

その他に、「世紀の大発見」と言われた「甲を着た古墳人」の発掘や「世界的にも希少な「榛名山噴火関連遺跡」も注目」が加えられていました。

私は、埴輪王国という言葉が書いてあったので、群馬の埴輪を川柳にしようと考えました。

2021年4月発行

はじめに

古墳時代を中心に、現在の関東地方で栄えた文化を「東国文化」といいます。当時の日本列島は近畿地方が政治・経済・文化の中心地でしたが、その頃の群馬は、ヤマト王権が列島統一のために最も重視した東国の地域で、東日本をリードする先進地域へと成長しました。

群馬が重視された背景には、地理的な優位性がありました。馬による交通が発達し始めた古墳時代、群馬は日本列島の西と東をつなぐ交通の要となります。こうして、ヤマト王権と強く結ばれた群馬には、東アジアの先進技術や文化がいち早く伝来しました。新たに国宝となった綿貫観音山古墳のきらびやかな副葬品の数々も、その交流を示す貴重な文化財です。

また、群馬は、かつて13,000基を超える古墳が存在した「東日本最大の古墳県」であり、埴輪として日本初の国宝となった武人埴輪をはじめ、質・量ともに日本一の「埴輪王国」でもあります。近年、世紀の大発見と言われた「甲を着た古墳人」の発掘などにより、世界的にも希少な「榛名山噴火関連遺跡」も注目を集めています。

この本を読み、数々の遺跡や古墳・埴輪の紹介を通して、古代群馬の果たした大きな役割を知っていただきたいと思います。そして、皆さんには「ふるさと群馬」の誇りを抱いていただきたいと思います。

②川柳卯と俳句のちがいを知る

川柳卯を作るために、川柳卯と俳句のちがいを調べました。

・川柳卯と俳句も同じ五・七・五の17音定型。

・俳句は、季言語が必要だが、川柳卯は、特にこだわらない。

・俳句は、切れ字が必要だが、川柳卯は特にこだわらない。

・俳句は、書き言葉が文言語体。川柳卯は、話し言葉が口言語体。

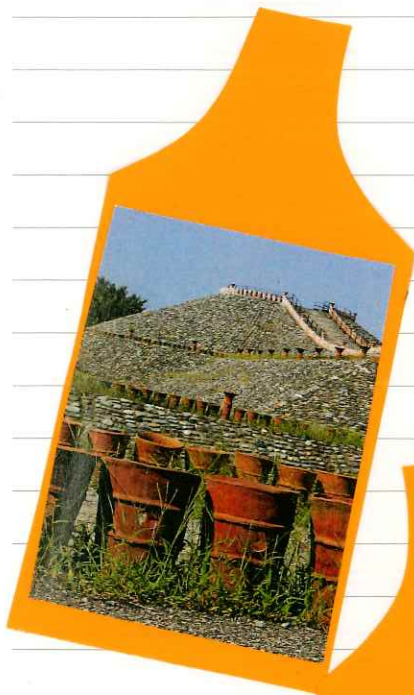
・俳句は、自然や四季を詠むもの。川柳卯は、人間模様を題材にしたもの。川柳卯は自分の気持ちをストレートに表現するのも特徴。

③調べた内容を使ってペットボトルラベルを作る

私は群馬県が「埴輪王国」という東国文化副読本を参考に、埴輪を題材に分かりやすく川柳にしようと思いました。

ペットボトルラベルの表には、埴輪の写真があり、うらには、その埴輪を分かりやすくした川柳をのせてみました。

東国文化副読本(2021年4月発行)のP.16~P.24の「日本一の埴輪王国 ぐんまを探検する」を使って作りました。



よい埴輪
技術があった
群馬なの



全部乗せ
古墳の上に
埴輪乗る



キラびが
かの
宝は
精巧だ



武人くん
細部丁寧
美しい



つぼと
円筒埴輪
ならびます



顔つき
円筒埴輪
インパクト



死者のため
家形埴輪
つくられた



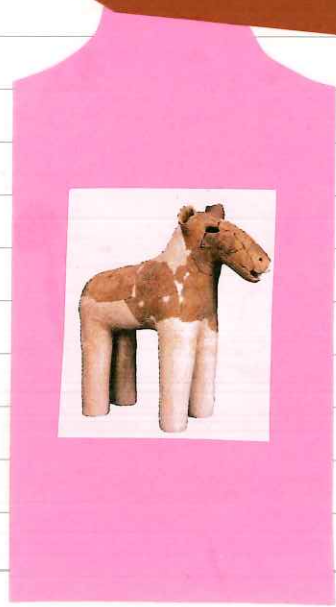
守るため
器財埴輪が
置かれます



並んでる
儀礼や儀式
見せるため



かざられた
動物埴輪
関係者



ねこ埴輪
いたらかわいい
でもない



しまたまげ
女性の埴輪
分かるはず



鈴ついた
仲良しの鳥
パートナー



横こつ
男のかみは
みずらだよ



にわとりは
特別あつかい
されていた



たてがみを
馬形埴輪
表した



臣下者
埴輪がひびき
なっていた



赤が好き
メイクはみんな
鉄さびよ

4. 石研究の結果

群馬県は、埴輪として日本初の国宝となった武人埴輪とは、物質・量ともに日本一の「埴輪王国」です。東国文化副言売本が新しく発行され、そう書いておきました。

埴輪王国であることを多くの人に知ってもらえるように写真と川柳を組み合わせてペットボトルラベルを作りました。

5字7字5字に文字が限られているので、東国文化副言売本を何度も言売み返し大切な言葉を入れられるように作りました。

18の写真を使って18の川柳ができました。これが、お茶やジュスのペットボトルラベルになり、どんな人でも親しむことが

できず、古墳時代の群馬の魅力を見逃すきっかけになればいいと考えています。

私これから群馬県の古墳時代を楽しく学べる方法を考えていきたいと思っています。

5. 参考にした本

- ・東国文化副読本～古代ぐんまを探検しよう～(2017)
- ・東国文化副読本～古代ぐんまを探検しよう～(2021)